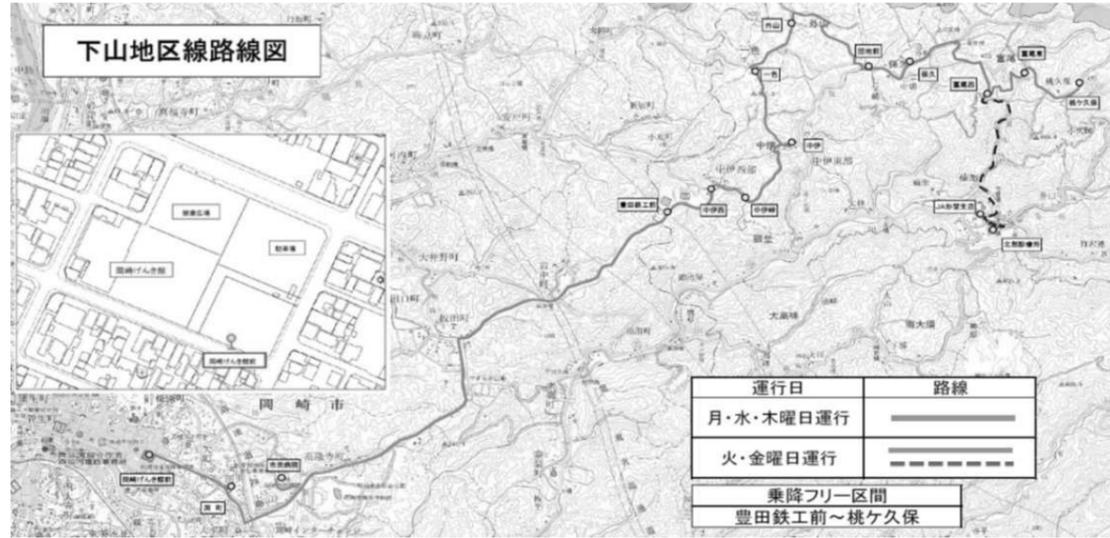


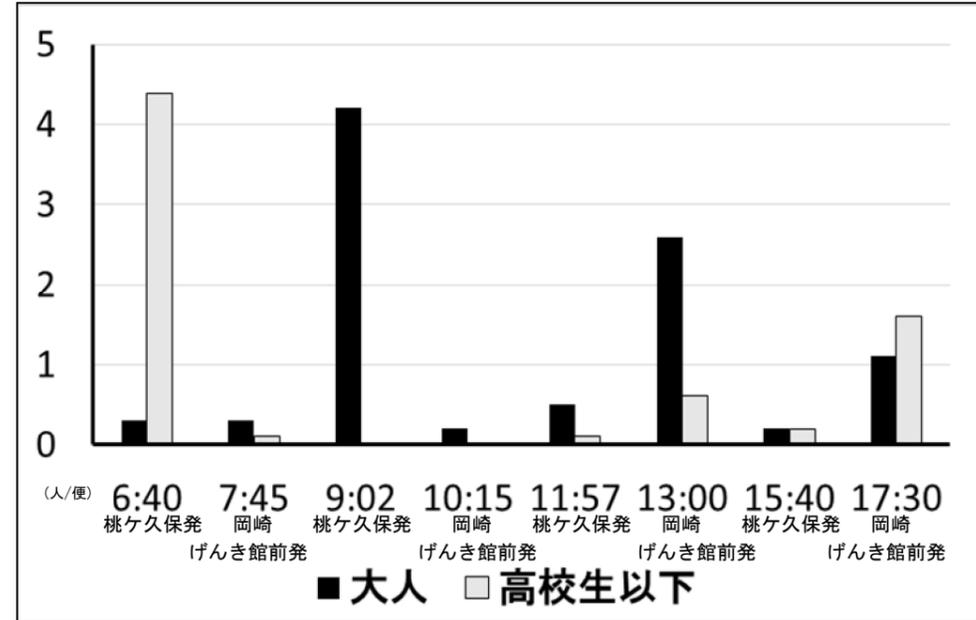
路線図



利用状況(便ごと平均利用人数)

月・水・木曜日運行(期間：H27.5.18～12.28)

- ・ 高校生の通学で利用されている。
- ・ 月に2回老人クラブの活動で利用されている。



運行状況

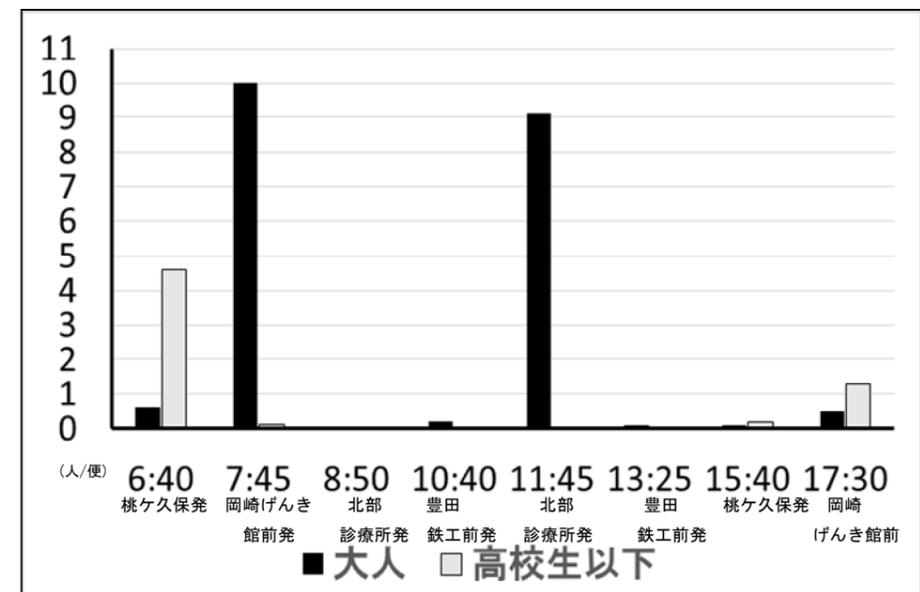
運営状況(H26年度)

運行日	平日(北部診療所へは火・金のみ運行) 年末年始は運休
運行本数	8便/日
運行時間帯	6時台～18時台
運賃	下山地区内：200円 下山地区⇄北部診療所：300円 下山地区・北部診療所⇄洞町・市民病院・岡崎げんき館：500円 (小学生～高校生は半額、未就学児は無料)
車両	小型バス
接続路線	岡崎げんき館：名鉄バス、まちバス 市民病院：名鉄バス
フリー乗降区間	豊田鉄工前～桃ヶ久保間

運行経費等	13,068千円
運賃収入	811千円
国補助額	1,367千円
委託料	10,890千円
利用者数	4,170人/年 (その内高校生以下：647人/年)
収支率	16.7%(国補助額含む)
乗車1人あたり市負担額	2,612円/人 (高校生以下含む)

火・金曜日運行(期間：H27.5.18～12.28)

- ・ 高校生の通学で利用されている。
- ・ 北部診療所への通院目的で利用されている。

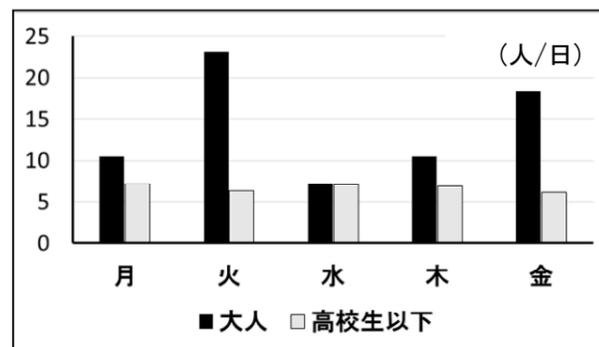


利用状況(曜日ごと平均利用人数)

曜日ごと平均利用人数

(期間：H27.5.18～12.28)

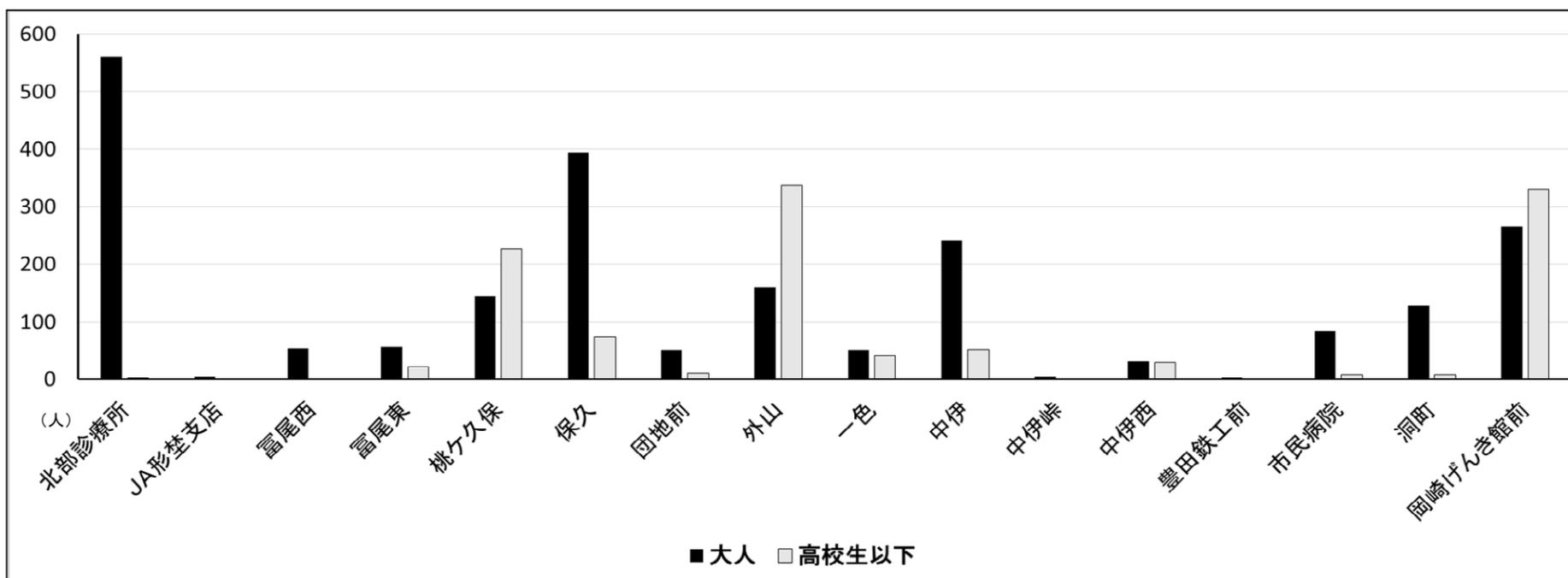
- ・ 火・金曜日は北部診療所への利用があるため他の曜日と比べて利用が多い。
- ・ 毎日高校生が通学で利用している。



バス停ごとの利用状況（期間：H27.5.18~12.28）

乗車人数

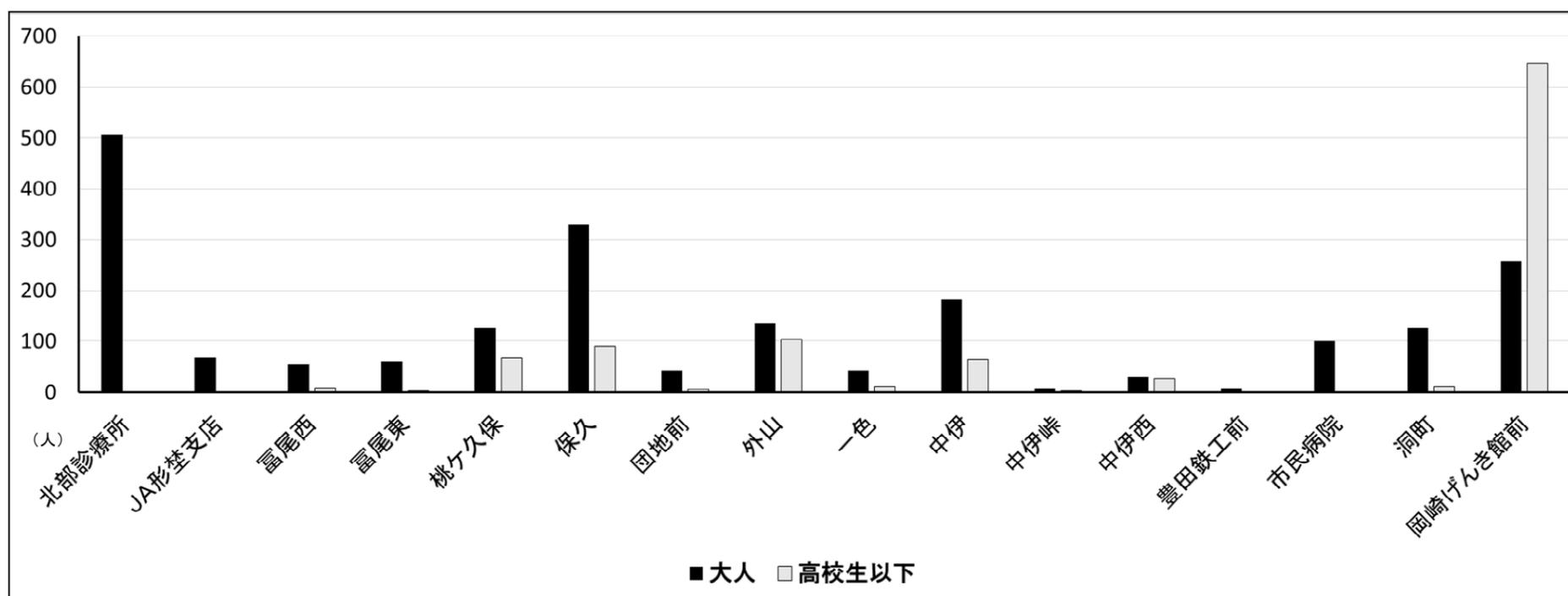
北部診療所の利用が一番多い。



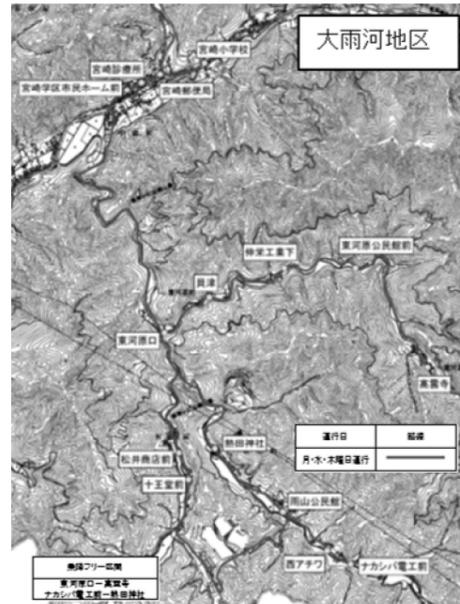
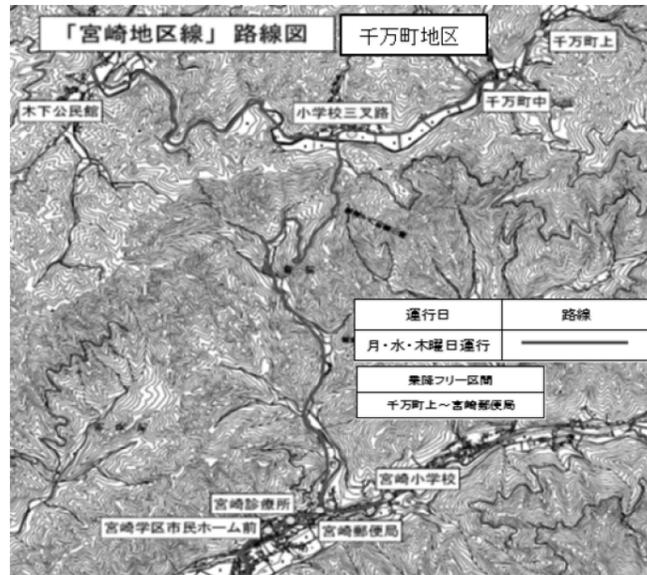
降車人数

大人は北部診療所での利用が一番多い。

高校生以下は岡崎げんき館前での利用が一番多い。



路線図



運行状況

運行日	月・水・木曜日 年末年始は運休
運行本数	月・水 3便/日 木 2便/日
運行時間帯	8時台～17時台
運賃	1乗車 300円 (小・中・高校生:150円、未就学児:無料)
車両	ジャンボタクシー
接続路線	宮崎学区市民ホーム前： 名鉄バスくらがり線
フリー乗降区間	千町上～宮崎郵便局 東河原口～高雲寺 ナカシバ電気前～熱田神社

運営状況 (H26年度)

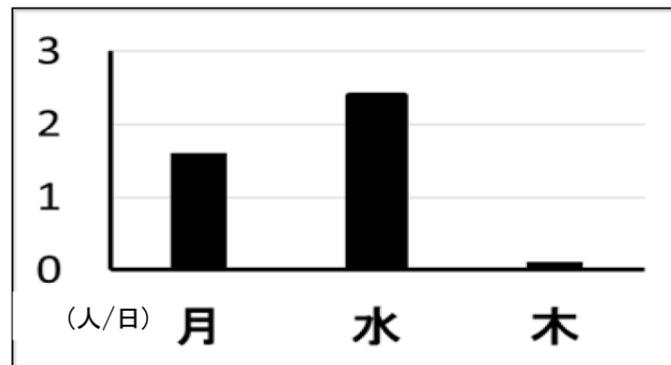
運行経費等	10,637千円
運賃収入	131千円
国補助額	1,868千円
委託料	8,637千円
利用者数	460人/年 (H26.4～9までの小学生は含まない)
収支率	18.8% (国補助額含む)
乗車1人あたり市負担額	18,776円/人 (H26.4～9までの小学生は含まない)

利用状況 (曜日ごと平均利用人数)

曜日ごと平均利用人数

(期間: H26.10.1～H27.12.28)

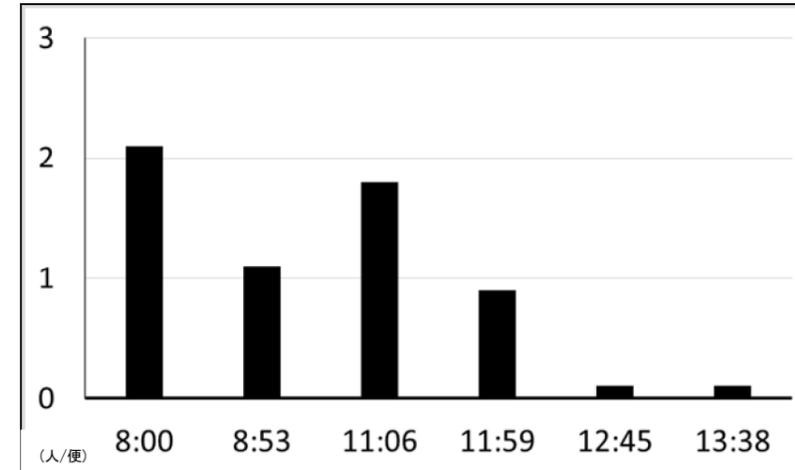
・木曜日の利用が一番少ない。



利用状況 (便ごと平均利用人数)

月・水曜日運行 (期間: H26.10.1～H27.12.28)

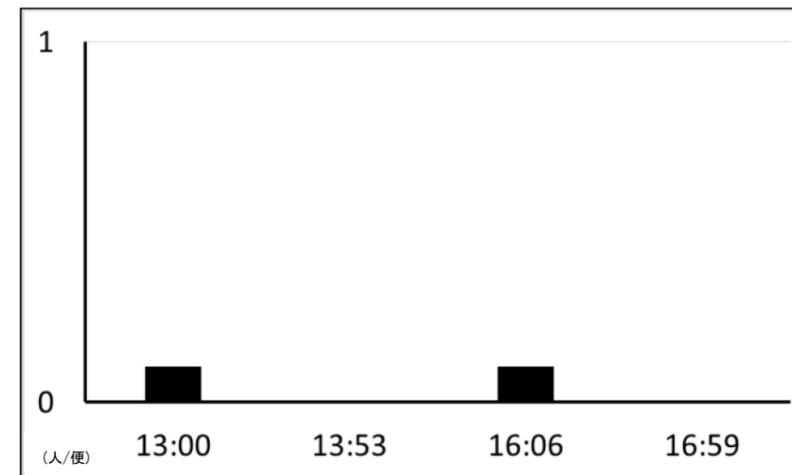
・午前中は一定の利用があるが、午後の利用はほとんどない。



(※) 8:00宮崎小学校発及び8:53宮崎診療所発、11:06宮崎小学校発及び11:59宮崎診療所、12:45宮崎小学校発及び13:38宮崎診療所発はそれぞれ1便として運行していますが、大雨河地区及び千町地区の利用を明らかにするために便宜上分けています。

木曜日運行 (期間: H26.10.1～H27.12.28)

・どの便もほとんど利用されていない。

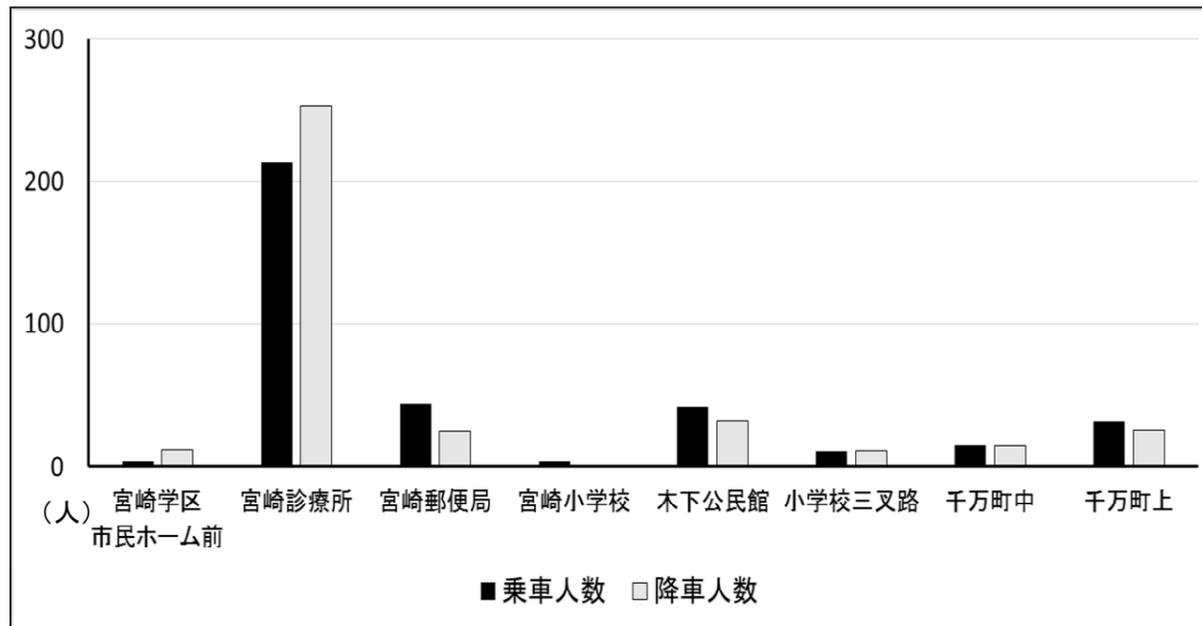
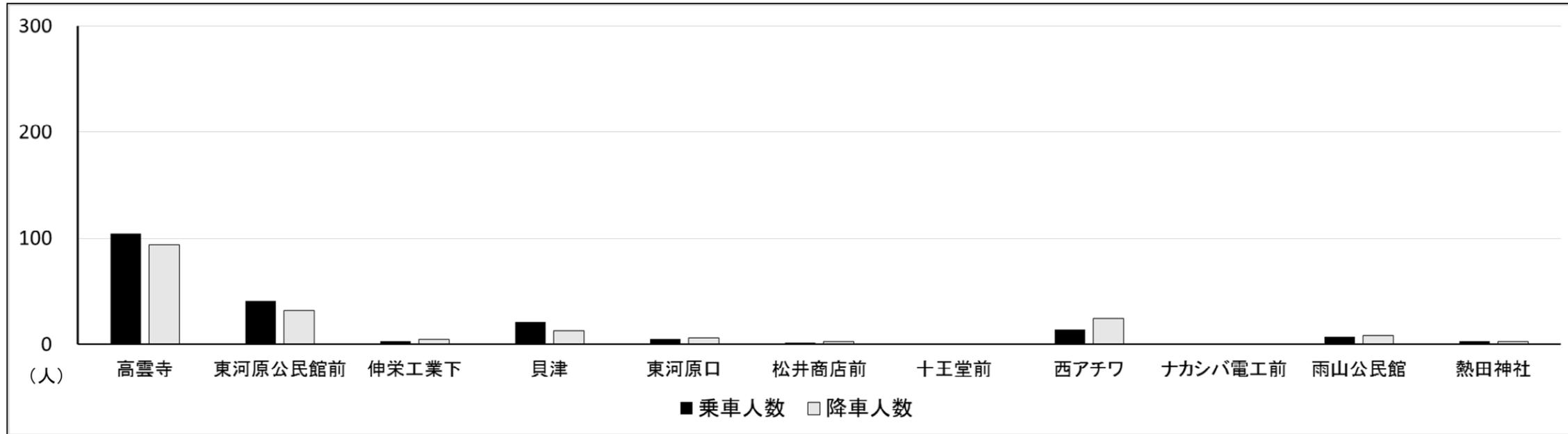


(※) 13:00宮崎小学校発及び13:53宮崎診療所発、16:06宮崎小学校発及び16:59宮崎診療所はそれぞれ1便として運行していますが、大雨河地区及び千町地区の利用を明らかにするために便宜上分けています。

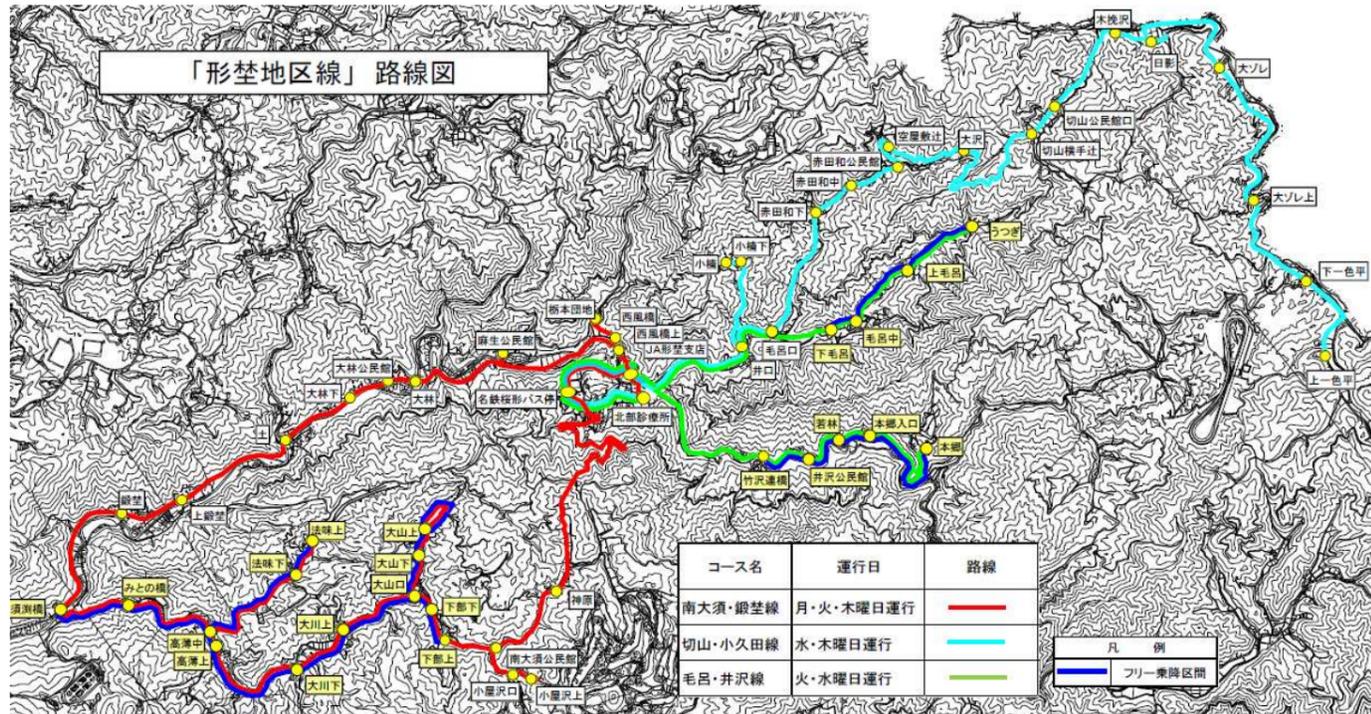
バス停ごとの利用状況（期間：H26. 10. 1～H27. 12. 28）

バス停ごとの乗車人数

宮崎診療所の利用が一番多い。



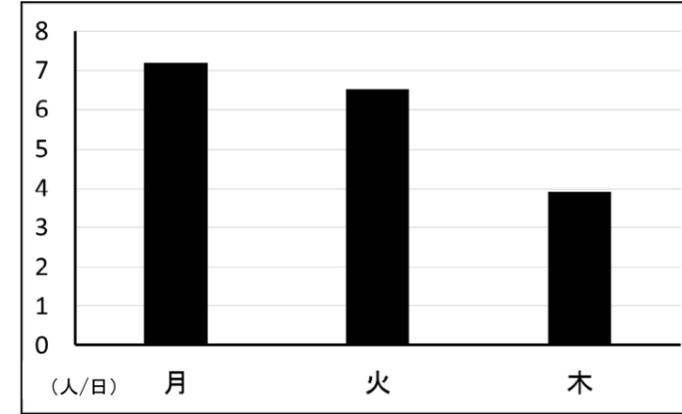
路線図



利用状況 (南大須・鍛埜ルート)

曜日ごと平均利用人数 (期間: H26. 10. 1~H27. 12. 28)

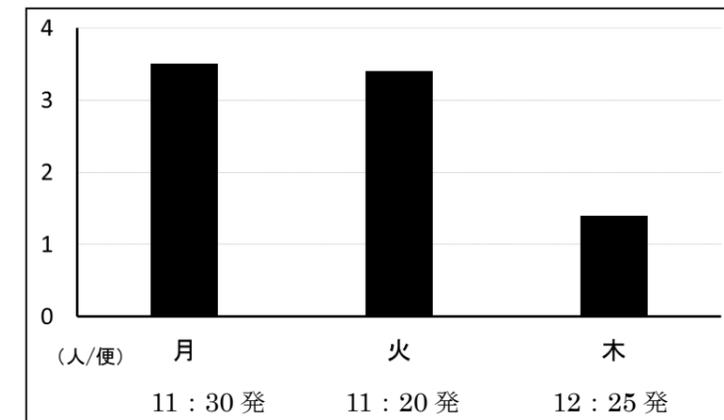
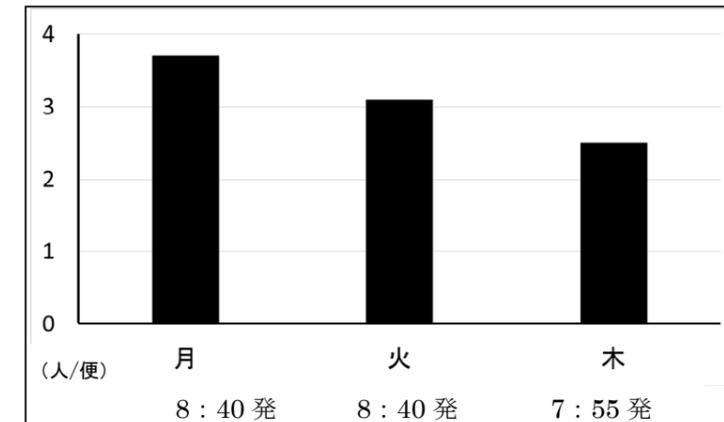
・木曜日の利用が少ない。



便ごと平均利用人数 (期間: H26. 10. 1~H27. 12. 28)

・木曜日の利用が少ない。

・1便目と2便目を比較すると月・火の利用はほとんど変わらないが、木曜日の利用は2便目の方が少ない。



(※) 全便とも  
北部診療所発

運行状況

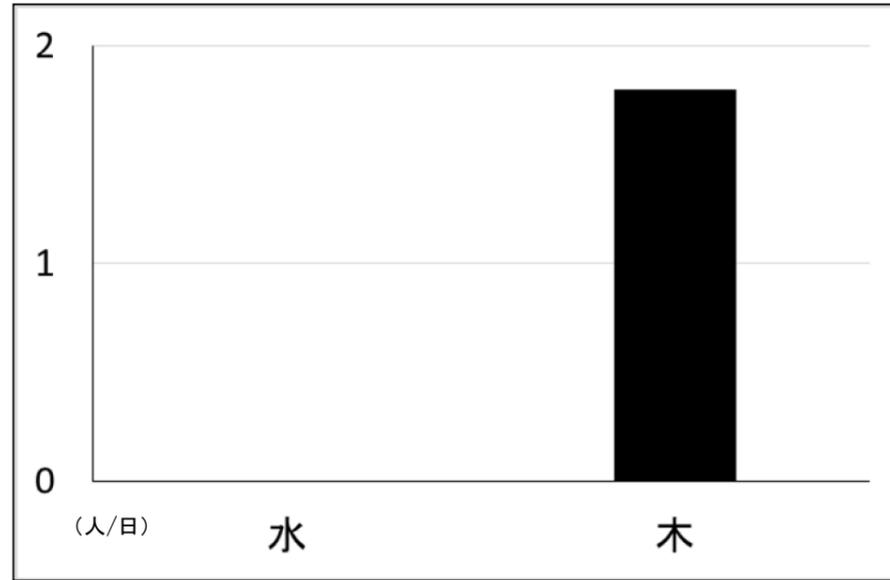
運行日	南大須・鍛埜ルート 月・火・木 切山・小久田ルート 水・木 毛呂・井沢ルート 火・水 年末年始は運休
運行本数	南大須・鍛埜ルート 2便/日 切山・小久田ルート 3便/日 毛呂・井沢ルート 2便/日
運行時間帯	7時台~17時台
運賃	1乗車 300円 (小・中・高校生:150円、未就学児:無料)
車両	ジャンボタクシー
接続路線	名鉄桜形バス停:名鉄バス 桜形線 須渕橋:名鉄バス 桜形線
フリー乗降区間	南大須・鍛埜ルート: 須渕橋~下部下 毛呂・井沢ルート: 下毛呂~うつぎ、竹沢連橋~本郷

運営状況 (H26年度)

運行経費等	6,095千円
運賃収入	220千円
国補助額	810千円
委託料	5,064千円
利用者数	1,064人/年
収支率	16.9% (国補助額含む)
乗車1人あたり市負担額	4,760円/人

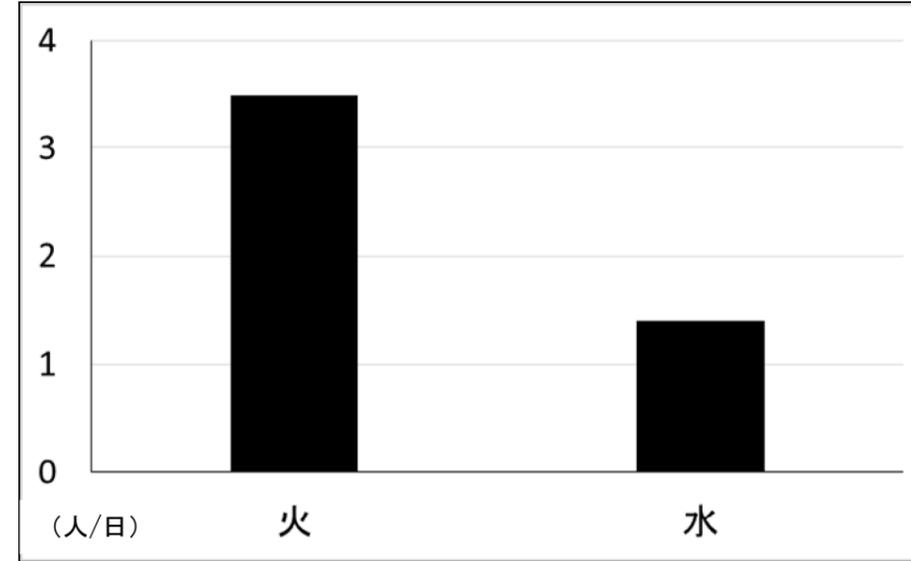
**利用状況（切山・小久田ルート）**

曜日ごと平均利用人数（期間：H26.10.1～H27.12.28）  
 ・水曜日の利用がまったくない。

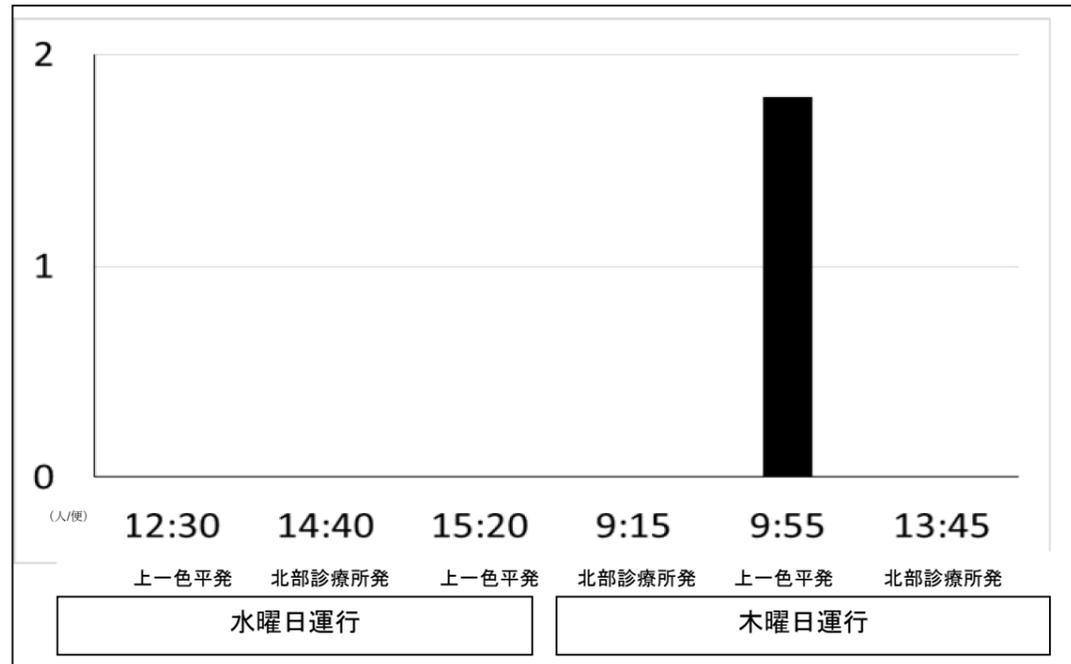


**利用状況（毛呂・井沢ルート）**

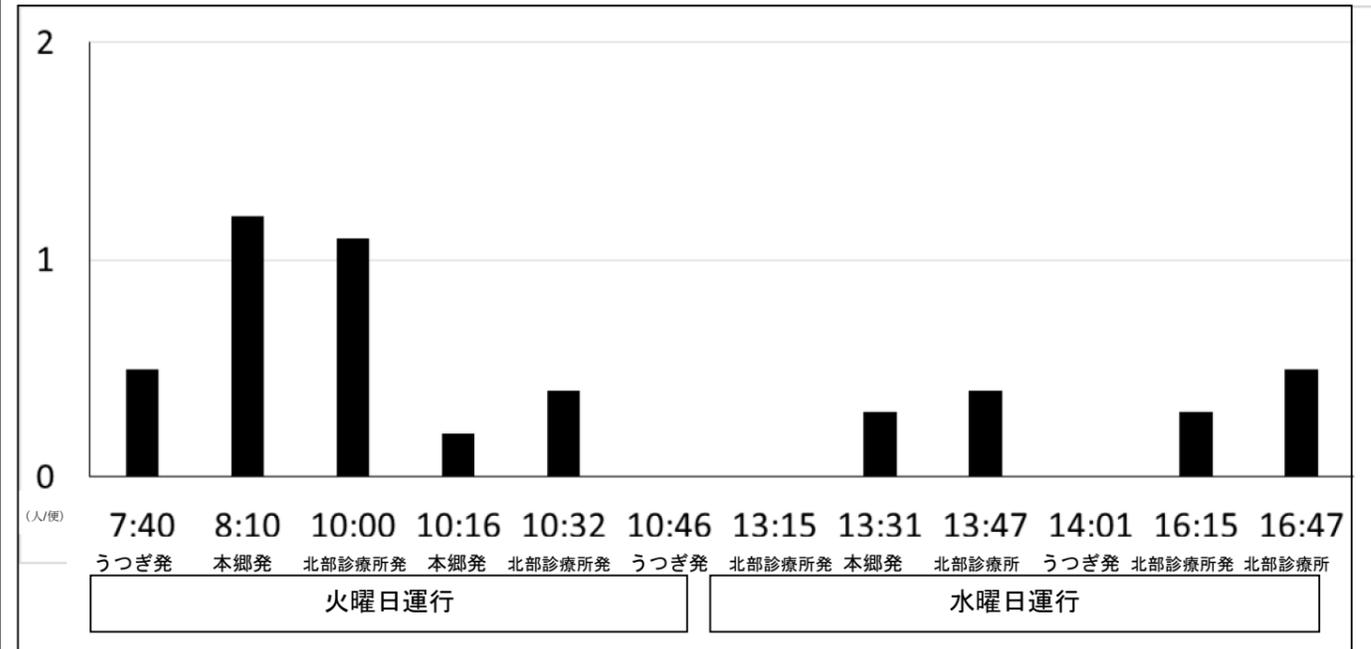
曜日ごと平均利用人数（期間：H26.10.1～H27.12.28）  
 ・火曜日のほうが利用が多い。



便ごと平均利用人数（期間：H26.10.1～H27.12.28）  
 ・木曜日の9：55上一色平発の便以外ほとんど利用がない。



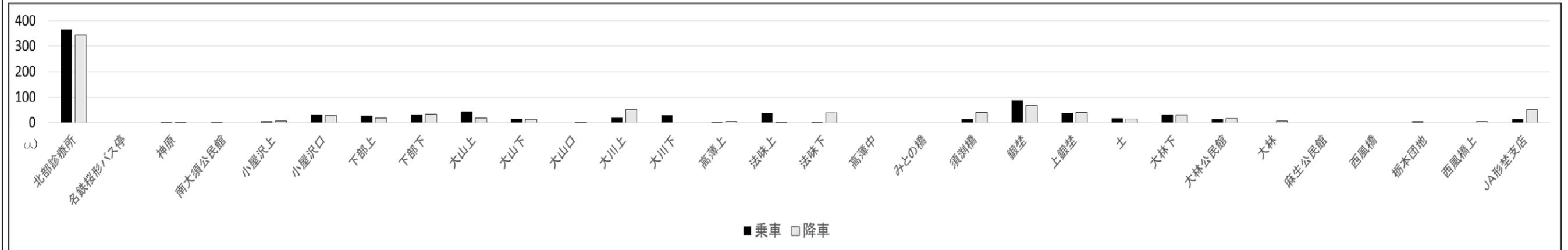
便ごと平均利用人数（期間：H26.10.1～H27.12.28）  
 ・8：10本郷発、10：00北部診療所発以外の便は1人より少ない。



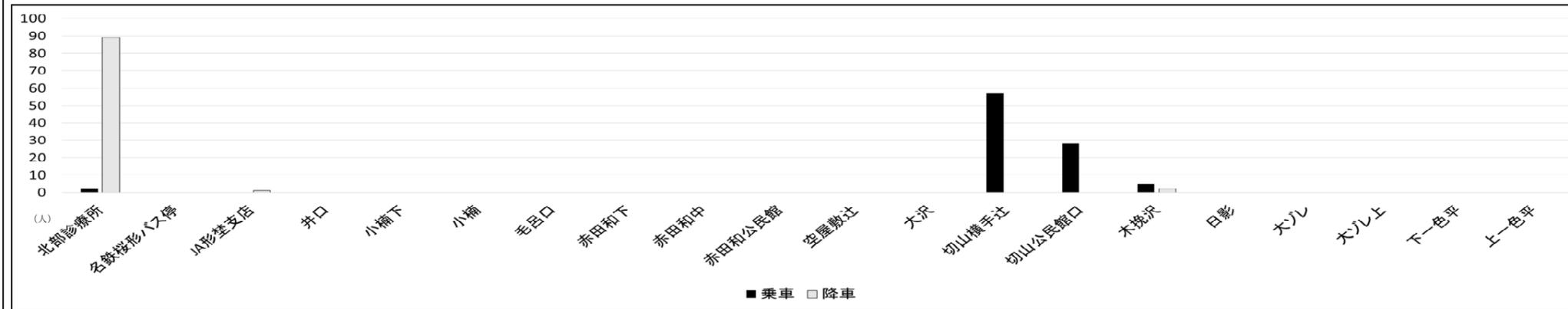
バス停ごとの利用状況（期間：H26.10.1～H27.12.28）

- どのルートも北部診療所での乗車や降車の利用が多い。
- 切山・小久田ルートは北部診療所での降車数は多いが、乗車に利用はほとんどない。

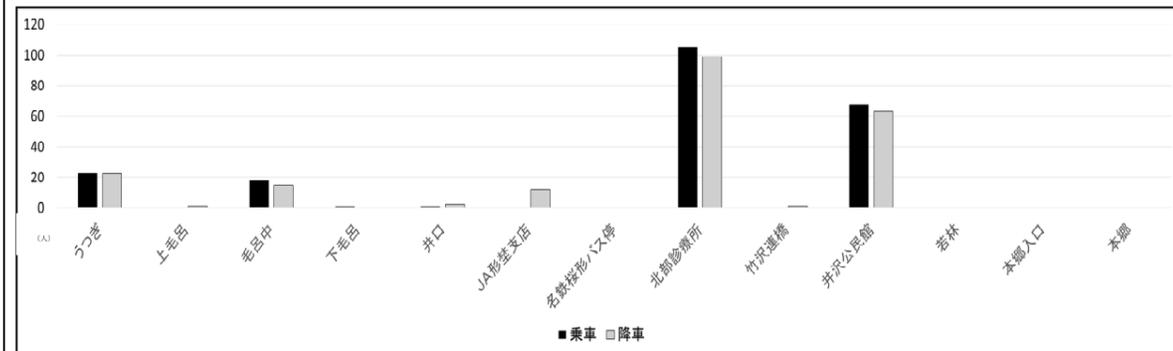
南大須・鍛冶ルート



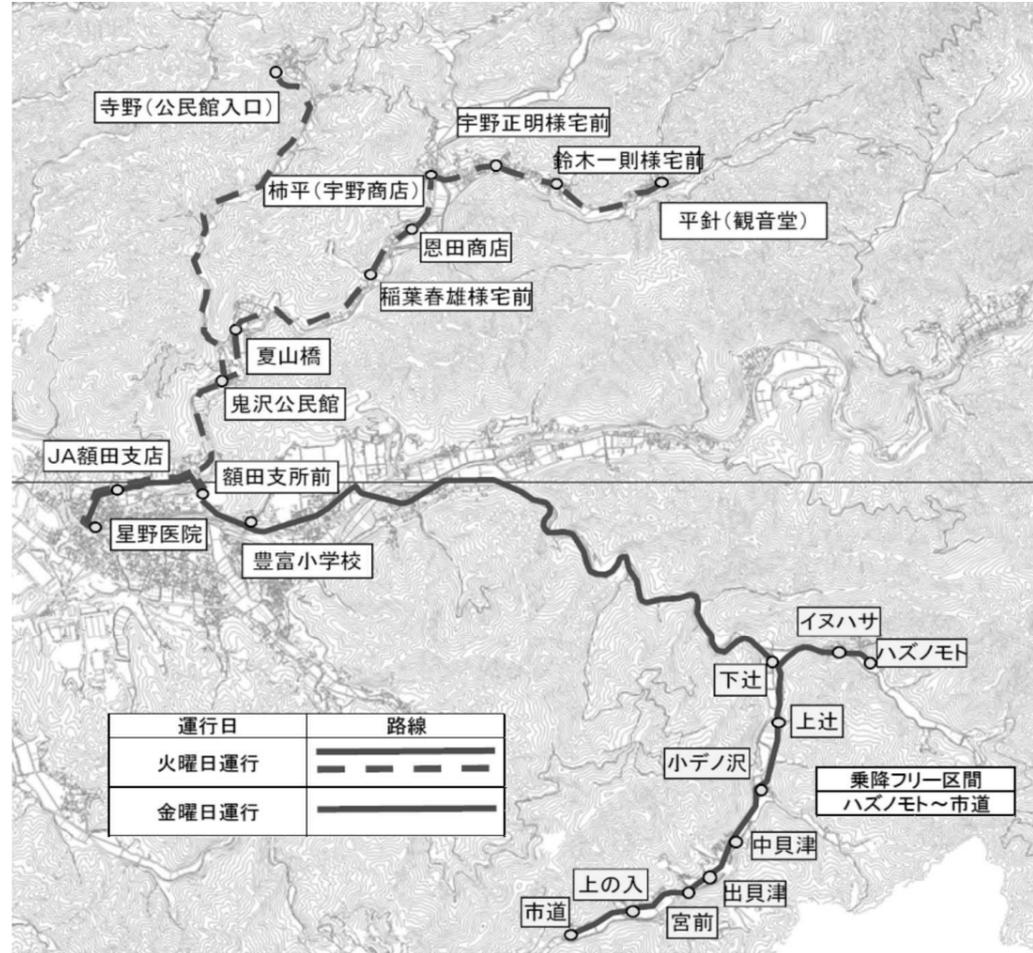
切山・小久田ルート



毛呂・井沢ルート



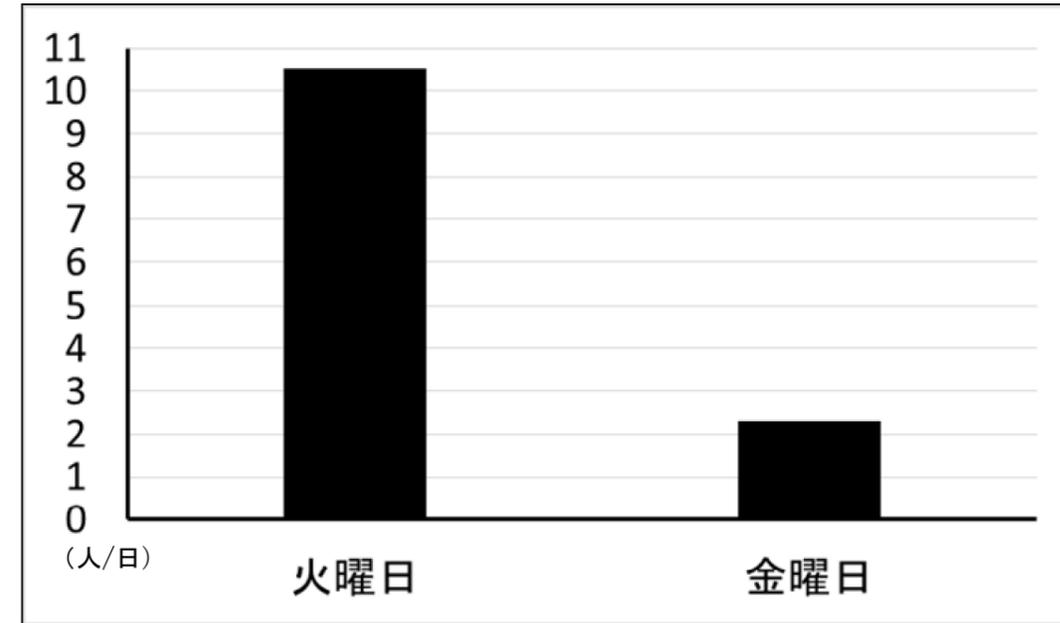
路線図



利用状況

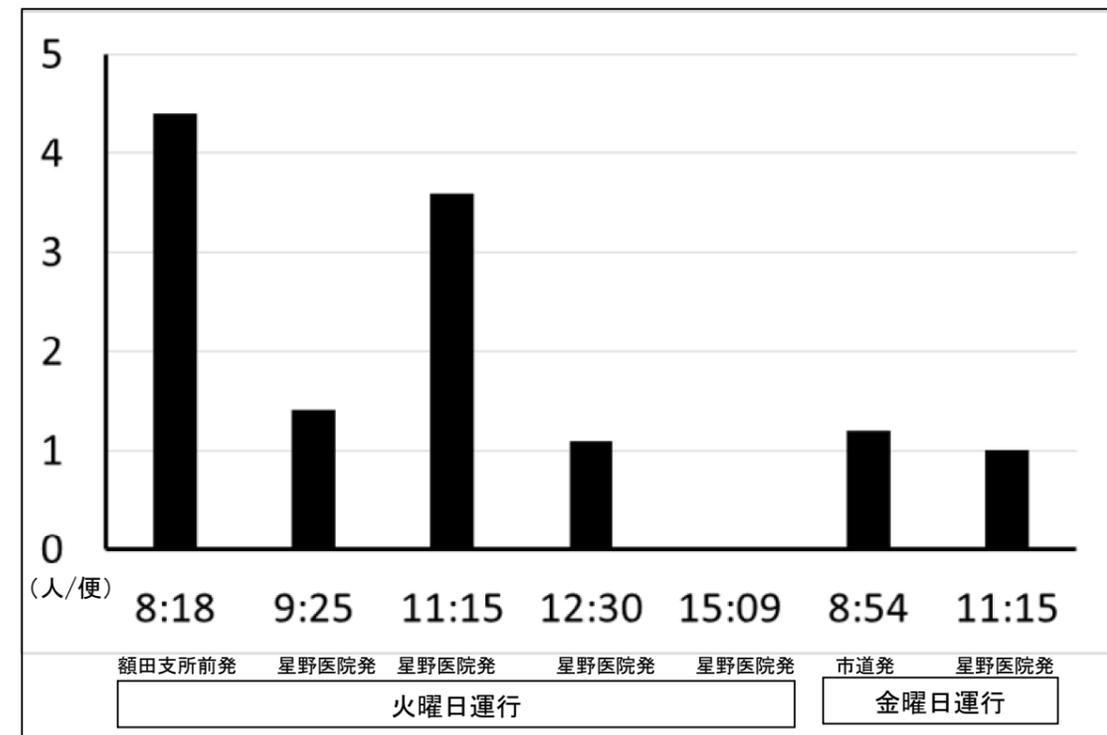
曜日ごと平均利用人数 (期間: H26. 10. 1~H27. 12. 28)

・金曜日は夏山地区を運行しないため利用が少ない。



便ごと平均利用人数 (期間: H26. 10. 1~H27. 12. 28)

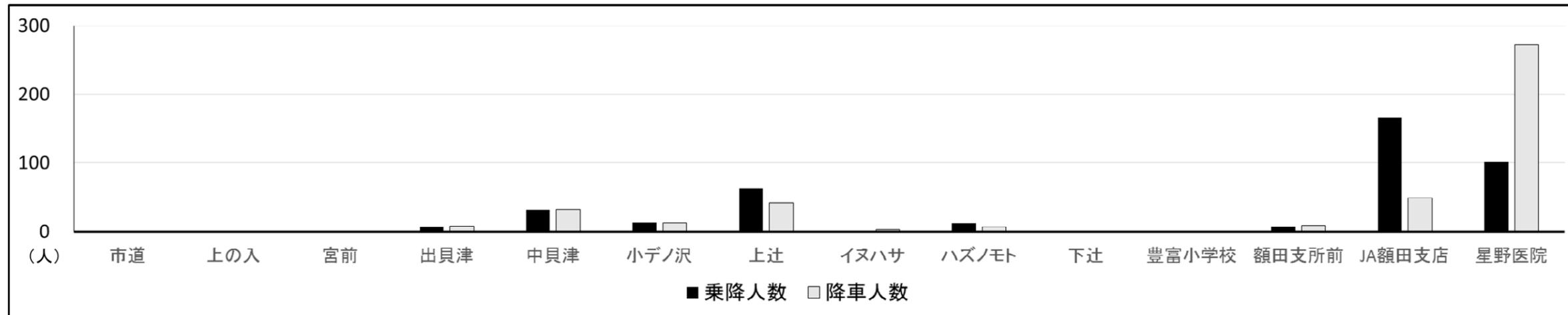
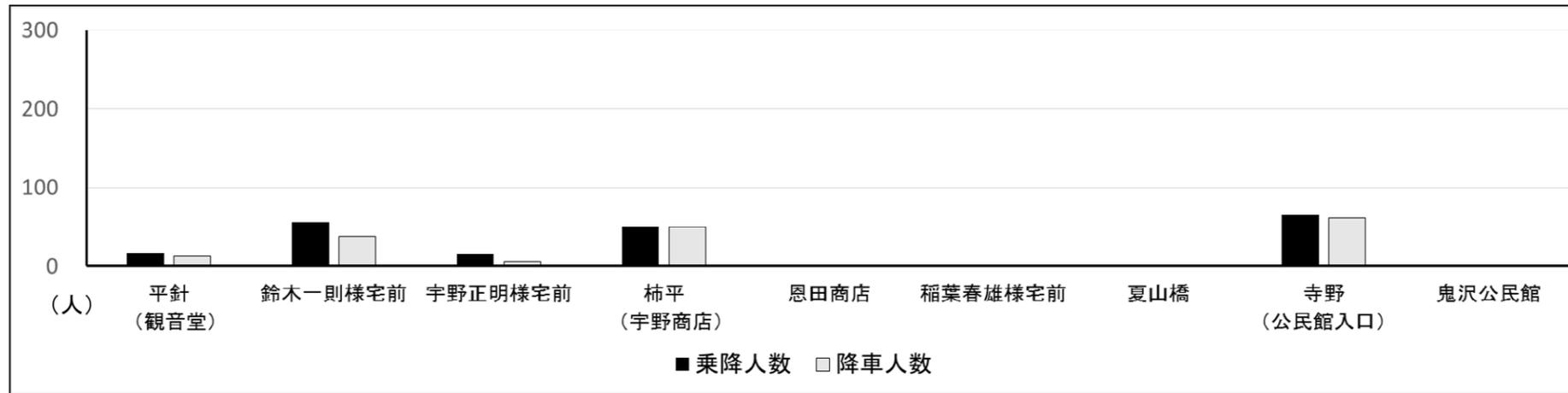
・15:09星野医院発の便は利用がない。



運行状況		運営状況 (H26 年度)	
運行日	火・金曜日運行 年末年始は運休	運行経費等	3,877千円
運行本数	火曜日 3便/日 金曜日 2便/日	運賃収入	120千円
運行時間帯	8時台~11時台	国補助額	468千円
運賃	1乗車 300円 (小・中・高校生:150円 未就学児:無料)	委託料	3,289千円
車両	ジャンボタクシー	利用者数	491人/年 (H26.4~9までの小学生は含まない)
接続路線	額田支所バス停: 名鉄バス 額田支所市民病院線 くらがり線	収支率	15.2% (国補助額含む)
フリー乗降区間	ハズノモト~市道	乗車1人あたり市負担額	6,698円/人 (H26.4~9までの小学生は含まない)

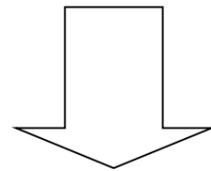
バス停ごとの利用状況（期間：H26. 10. 1～H27. 12. 28）

・星野医院及びJA額田支店での利用が多い。



## 2 各路線利用状況のまとめ

路線名	内容
下山地区線	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝、夕の便は高校生の利用が毎日あることから、通学のために利用されている。</li> <li>日中の便は、北部診療所の利用が多いことから、通院目的で利用されている。</li> <li>下山地区線（ささゆりバス）を利用して北部診療所へ来院する人数の割合は全体の約22%（※H27.11～12の来院者数と北部診療所降車人数を基に算出）</li> </ul>
宮崎地区線	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮崎診療所での利用が多いことから、通院目的での利用が考えられる。</li> <li>宮崎地区線（のってこバス）を利用して宮崎診療所へ来院する人数の割合は全体の約7%（※H27.11～12の来院者数と宮崎診療所降車人数を基に算出）</li> </ul>
形埜地区線	<ul style="list-style-type: none"> <li>北部診療所での利用が多いことから、通院目的での利用が考えられる。</li> <li>形埜地区線（乙川バス）を利用して北部診療所へ来院する人数の割合は全体の約4%（※H27.11～12の来院者数と北部診療所降車人数を基に算出）</li> </ul>
豊富・夏山地区線	<ul style="list-style-type: none"> <li>星野医院での利用が多いことから、通院目的での利用が考えられる。</li> </ul>



### 今後の方針

詳細な利用状況を額田の各地区協議会で共有し、改善点の方針を定める。

- ・利用のほとんどない曜日や区間がある。
- ・通学や通院等で利用されているが、買物等その他の目的での利用需要の有無。
- ・サービスレベルにあった運行形態の検討。

利用状況を把握しつつ、額田地域のかたにとって日常生活の交通手段となるよう運行の改善を図っていく。

## 3 スケジュール（案）

